

2021年3月19日

株式会社野村総合研究所が発行するサステナビリティ・リンク・ボンドへの投資 ～2050年温室効果ガス排出ゼロに向けた取組の後押しを通じて低炭素社会への移行を推進～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、株式会社野村総合研究所(代表取締役会長兼社長:此本 臣吾、以下、「NRI」)が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド¹に、48億円の投資を行うことを決定しましたのでお知らせいたします。

サステナビリティ・リンク・ボンドは、事前に設定されたサステナビリティ・パフォーマンス目標の達成状況によって投資条件が変動する仕組みとなっており、投資先企業の取組み・行動変容を後押しすることで、環境・社会面において持続可能な経済活動を促進・支援することを目指す先進的な金融商品です。

NRIは2021年2月に、パリ協定1.5℃目標の達成に向けて2050年までに自社の消費電力を100%再生可能エネルギー利用に移行し、温室効果ガス排出をゼロとする新たな環境目標を公表しました。2030年度までの達成目標として①NRIグループの温室効果ガス排出量72%減(2013年度比)(Scope 1+2)、②データセンターの再生可能エネルギー利用率70%達成、を設定しています²。

本債券では、サステナビリティ・パフォーマンス目標としてNRIの2030年度までの達成目標を設定しています。これらの目標を達成した場合はNRIが期限前償還することが可能となり、発行体であるNRIにとっては、市場環境に応じた柔軟な資金調達の意味決定を行うことが可能となる商品設計となっています³。なおサステナビリティ・リンク・ボンドの商品設計としては、世界初の試みとなります。

当社は本債券への投資が、NRIの2050年温室効果ガス排出ゼロを目指す取組みの更なる推進の動機付けとなり、低炭素社会への移行の後押しとなることを期待しています。

今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資に積極的に取り組んでいきます。



【案件概要】

発行体	株式会社野村総合研究所
発行額	50億円
償還期間	12年(期限前償還条項付) ※償還期日:2033年3月31日、期限前償還日:2031年9月30日
サステナビリティ・パフォーマンス目標	① 2030年度までにNRIグループの温室効果ガス排出量72%減(2013年度比)(Scope 1+2) ② 2030年度までにデータセンターの再生可能エネルギー利用率70%達成

¹ 本債券は、格付投資情報センター(R&I)およびESG関連リサーチ機関のV.E(Vigeo Eiris)から、サステナビリティ・リンク・ボンド原則との適合性等について第三者意見を取得しています。

² NRIの環境目標は、国際的な環境イニシアティブである「Science Based Targets (SBT) イニシアティブ」より、科学的根拠に基づく削減目標として認定されています。

³ 目標未達の場合、期限前償還は行われませんが、10.5年後以降の金利が引き上がることを通じて、投資家にとって12年債として相応しい金利の確保が期待されます。